お願いとご注意

ー重要なお知らせー

Libero 2

2017 年 7 月第 1 版発行 ソフトバンク株式会社
製造元：ZTE コーポレーション

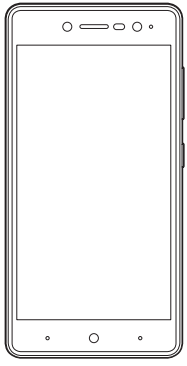
目 次

お買い上げ品の確認 2
マナーとルールを守り安全に使用しましょう 3
安全上のご注意 5
使用材料／素材 25
お願いとご注意 26
USIMカード／SDカードを取り付ける 37
充電する 42
知的財産権について 44
本機の比吸収率（SAR）について 48
暗証番号について 57
PINコード設定 58
ソフトウェア更新 59
保証とアフターサービス 61
お問い合わせ先一覧 62

お買い上げ品の確認

このたびは、「Libero 2」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- **Libero 2 本体**



- **電池パック（ZEBBD1）**
- **クイックスタート（日本語版／英語版／中国語版）**
- **お願いとご注意（本書）**
- **本体保証書**

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、**お問い合わせ先**（→P.62）までご連絡ください。
- 本機ではmicroSD™／microSDHC™／microSDXC™カード（以降、SDカードと記載）に対応しています。ご利用にあたっては、市販のSDカードを購入してください。
- その他のオプション品につきましては、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（→P.62）までご連絡ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

本機の使いかたを誤ると、機器の発熱・破壊・感電といった危険を伴い、死亡または重傷を負うおそれがあります。以下の内容および「安全上のご注意」（→P.5）をお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠こんな使いかたはやめましょう

● **分解・改造**
分解や改造をしないでください。

● **外部接続端子の接触**
外部接続端子に金属などをふれさせないようにしてください。

● **加熱**
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に本機を入れて加熱しないでください。

● **無理な取り付け**
USBケーブル（別売）をうまく取り付けられないときは、取り付ける向きを確かめてください。

● **指定品以外の使用**
本機に使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。

● **運転中**
自動車運転中の使用は危険なため、法律で禁止されています。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

こんな場所では指示に従って使用しましょう

● **航空機内**
本機の電波により、運航の安全に支障をきたす可能性があります。航空機内では、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください。

● **病院内**
病院など医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従いましょう。

マナーを守るための便利な機能

● **マナーモード**
周囲に迷惑がかからないよう、着信音や操作音などが鳴らないように設定できます。

● **簡易留守録**
電話に出られないときに、相手のメッセージを本機に録音できます。

● **機内モード**
電源を入れたまま、電波の送受信のみ停止できます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

表示の説明

- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本機、USIMカード、ACアダプタ（別売）、USBケーブル（別売）、電池パック（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

本機に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

電池の発火、破裂、発熱、漏液破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意いただきたい例

・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする

・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む

・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止

イヤホン接続端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

オプション品は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

イヤホン端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本機の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントから抜く。
・本機の電源を切る。
・電池パックを本機から取り外す。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示

本機を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本機や電池パック、ACアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠危険

禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止

本機内のUSIMカードスロットやSDカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、USIMカードやSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本機を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本機から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

ペットなどが噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

電池カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
電池カバーが破損し、けがなどの原因となります。

禁止

電池カバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。
けがなどの原因となります。

禁止

電池カバーを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については「使用材料／素材」（→P.25）を参照してください。

指示

本機のスピーカー部および受話口に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

電池パック（オプション品）の取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

接続端子のショートにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

電池パックを本機にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックを本機からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

電池パックを本機に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

電池パック内部の物質などが目の中に入った場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

禁止

電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから**ソフトバンクショップ**など窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ACアダプタ（別売）、USBケーブル（別売）の取り扱いについて

⚠警告

禁止

ACアダプタやUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

ACアダプタやUSBケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタやUSBケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

ACアダプタやUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止

本機にACアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタのコードやUSBケーブル、充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプタを持って抜いてください。
ACアダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

本機にACアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

使用しない場合は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

USIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

USIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

使用材料／素材

本体

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース（ディスプレイ）	PC+20%GF／マット塗装
電池カバー	PC+PET+ファイバーグラス／裏面シルク印刷
受話口	金属網／PVDハイライト
電源キー、音量大小キー	PC／マット塗装
カメラ（レンズ部分）	ナノガラス／裏面シルク印刷
カメラリング	ステンレス／PVD電気メッキ
タッチパネル	ガラス／裏面シルク印刷
外部接続端子	ステンレス／バーリング加工
ネジ	構造用炭素鋼／ナイロック加工
スピーカーメッシュ	PET
USIMカードスロット	銅ニッケル亜鉛合金
フラッシュライトパネル	PMMA
アンテナシール	PE

電池パック（ZEBBD1）（オプション品）

使用箇所	材質／表面処理
本体	PC＋ABS
端子	銅・金メッキ／ニッケルメッキ
水濡れシート	水溶紙・OPPフィルム
印字ラベル	PET

お願いとご注意

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

ご利用にあたって

- 本機は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話や映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用になれない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。その証として、「技適マーク 技」が本機の電池パック取り付け部に貼ってあるラベルに表示されております。分解、改造等により、技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。

- 本機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
  - 誤った使いかたをしたとき
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  - 動作中に電源を切ったとき
  - 電池の残量がなくなった（放電しきった）とき
  - 故障したり、修理に出したとき
- はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。
- 本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

- 長時間のご使用、点滅を繰り返す画面やその他の光の刺激によって、身体に影響を及ぼす可能性があります。不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめ、ただちに医師の診察を受けてください。
- 本機および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本機および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。
  詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。
- 補聴器をお使いで本機をご使用になる場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。
- 爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機の電源をお切りください。爆発を誘発するおそれがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本機で画面ロック解除用の暗証番号を設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りの**ソフトバンクショップ**にて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録／設定した内容が消失しますのでご了承ください。

● 本機では、Google Inc. が提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客さまご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルス等）につきまして、当社は一切の保証を致しかねます。

お取り扱いについて

● 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機は防水仕様ではありません。
● 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
● 本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
● 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
● 本機の電池カバーを取り外しているときは、USIMカードスロットの金属部分に触れないでください。静電気による故障の原因となります。
● お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。
● 電池パックは電源を入れたまま外さないでください。故障の原因となります。

● 本機から電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなりましたら、新しい電池パックをお買い求めください。
● 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、普通ゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ソフトバンクショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その規則にしたがって処分してください。

Li-ion 00

● 電池パックを取り外すときは、必ず本体のくぼみに指先を入れてから電池パックの片側を持ち上げてください。無理に取り外そうとすると、端子が破損するおそれがあります。
● 本機のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。

- 市販のイヤホンなどをイヤホン接続端子にしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。
- 市販のイヤホンなどをご使用中に音量を上げすぎないでください。耳に負担がかかり障害が出たり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、歩行中などでは周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
- 市販のイヤホンなどを端子から抜くときは、コード部分を引っ張らずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると破損・故障の原因となります。
- 機種変更・故障修理などで、本機を交換するときは、本機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

フラッシュライトについて

- 高温もしくは低温下または湿気の多いところではご使用にならないでください。フラッシュライトの寿命が短くなることがあります。
- フラッシュライトには寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。

カメラのご使用について

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- 大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
- 撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

緊急速報メールについて

- お買い上げ時、緊急速報の受信設定は「通知を有効にする」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「通知を有効にする」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。

● 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

Bluetooth®機能について

● 次の場所では、本機を使用しないでください。
- 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ
- 2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）

● 本機の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
- 産業、科学、医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
- 構内無線局（免許を要する無線局）

● Bluetooth®ご使用上の注意

本機を使用する場合は、左記の機器や無線局と電波干渉するおそれがあるため、以下の事項に注意してください。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本機の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、**お問い合わせ先**（→P.62）までご連絡ください。

● 周波数帯について

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。

FH4は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

2.4FH4/XX8/DS4/OF4

Wi-Fi（無線LAN）について

- 一部の国／地域では無線LANの使用が制限されます。海外でご利用になる場合はその国／地域の法規制などをご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります（特に電子レンジ使用時に影響を受けることがあります）。
- 近くに複数のWi-Fiアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できない場合があります。
- 本機の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  - 産業、科学、医療用機器
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  - 構内無線局（免許を要する無線局）

- Wi-Fiご使用上の注意

  本機を使用する場合は、左記の機器や無線局と電波干渉するおそれがあるため、以下の事項に注意してください。

  1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本機から移動体識別用の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本機の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、**お問い合わせ先**（→P.62）までご連絡ください。

- 周波数帯について

  この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。

  DS4は変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

  OF4は変調方式としてOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

2.4FH4/XX8/DS4/OF4
■ ■ ■

USIMカード／SDカードを取り付ける

USIMカードについて

- USIMカードを濡らさないでください。また、湿気の多い場所に置かないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを火のそばや、ストーブのそばなど高温の場所にて使用および放置しないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを保管する際、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。放置した場合、故障の原因となります。
- USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったりする場合があります。
- USIMカードの取り扱いについては、ご使用前にUSIMカードの取り扱いに関する説明をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

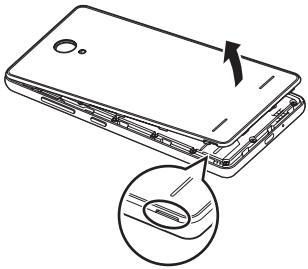
SDカードについて

- 本機は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、128GBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています。
- すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードについては、各SDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDXCカードはSDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器には差し込まないでください。microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあります。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化する必要があります。初期化するとデータはすべて削除されます。
- SDXC非対応機器との間でデータコピーを行う場合は、コピー先またはコピー元の機器の規格に準拠したmicroSDHCカード／microSDカードをご利用ください。
- 本機は、microSDカードのスピードクラスで最大クラス10、UHSスピードクラスでクラス1に対応しています。

USIMカード／SDカードの取り付けかた

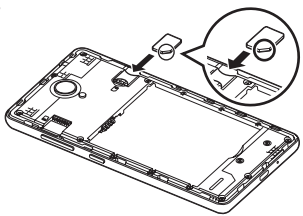
1 電池カバーを取り外す

- 電池カバーの凹みに指をかけ持ち上げます。電池カバーと本体の間にすきまができたら、周囲に沿って少しずつ取り外します。
- 爪を傷つけないようにご注意ください。



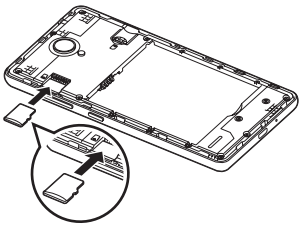
2 USIMカードのIC部分を下にして、USIMカードスロットにゆっくりと水平に奥まで差し込む

- USIMカードを取り外すには、USIMカードスロットの奥から逆向きでゆっくりと水平に引き抜いてください。



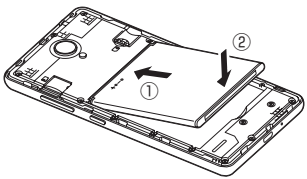
3 SDカードの端子面を下にして、SDカード挿入口にゆっくりと水平に奥まで差し込む

- SDカードを取り外すには、SDカードをゆっくりと水平に引き抜いてください。



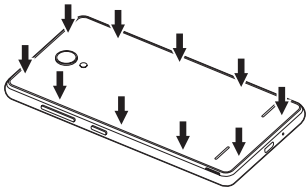
4 電池パックを取り付ける

- 端子部分を本体の端子部分に合わせて①の方向に押し付け、②の方向にしっかりと押し込みます。



5 電池カバーを取り付ける

- 電池カバーと本体を合わせ、矢印の位置を「カチッ」と音がするまで押し込んで、完全に閉めてください。
- 浮いている箇所がないことを確認してください。
- 電池カバーを完全に閉められない場合に、強い力で押し込まないでください。電池カバーの破損の原因となります。



充電する

ACアダプタで充電する

ACアダプタは別売です。ソフトバンク指定のACアダプタ（microUSB 1.0A）［ZSDBA6］※1またはACアダプタ（microUSB Quick Charge™ 2.0対応）［ZSDBA4］※2をお使いください。

※1 SoftBank SELECTION microUSB充電 ACアダプタ 1.0A［SB-AC13-HDMU/WH］

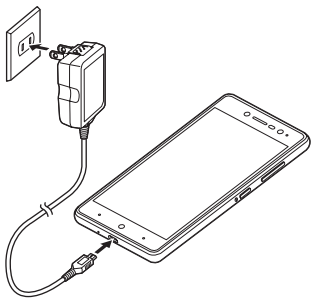
※2 SoftBank SELECTION Qualcomm® Quick Charge™ 2.0対応 ACアダプタ［SB-AC12-HDQC/WH］

ACアダプタ、およびその他の周辺機器についてはソフトバンクのホームページを参照してください。

1 本機の外部接続端子にACアダプタのmicroUSBプラグを差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む

- 充電が始まると、本機の通知ランプが点灯します。



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントから抜き、microUSBプラグを本機から取り外す

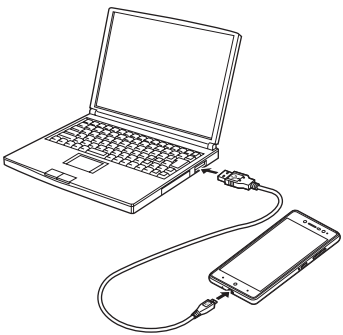
パソコンと接続して充電する

microUSBケーブルは別売です。市販のmicroUSBケーブルをお使いください。
microUSBケーブル、およびその他の周辺機器についてはソフトバンクのホームページを参照してください。

1 本機の外部接続端子にmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

2 パソコンにmicroUSBケーブルのUSBプラグを差し込む

- 充電が始まると、本機の通知ランプが点灯します。



3 充電が完了したら、microUSBケーブルをパソコンと本機から取り外す

知的財産権について

著作権について

● 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本機を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

● 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標／登録商標について

Bluetooth®は米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

Google および Google ロゴ、Android および Android ロゴ、Google Playおよび Google Play ロゴ、Gmail および Gmail ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴ、Google 検索 および Google 検索 ロゴ、Google 音声検索 および Google 音声検索 ロゴ、Google カレンダー および Google カレンダー ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Wi-Fi®、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、PowerPoint、Excelは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。

ZTE、ZTE中興、ZTE Corporationの名称、ロゴは、中国およびその他の国における商標または登録商標です。

S!メールはソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

「あんしんバックアップ」は株式会社ACCESSの技術提供を受けております。

©2011 ACCESS CO., LTD. ALL rights reserved.
Copyright © 2009 The Android Open Source Project Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”);
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

ACCESS、ACCESSロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

Yahoo!およびYahoo!、Y!のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

Internet SagiWallの名称およびロゴは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

McAfeeとMcAfeeのロゴは、米国およびその他の国におけるMcAfee LLCの商標です。

Copyright © 2014 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

©Yahoo Japan, © OPeNBooK

その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本機の比吸収率（SAR）について

この機種【Libero 2】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準※1は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機【Libero 2】の頭部におけるSARの最大値は0.667W/kg※2であり、また次の方法※3により身体に装着した場合のSARの最大値は1.896W/kg※2です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

頭部以外の位置におけるご使用方法※3

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から0.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）に規定されています。

※2 ＜携帯電話サービス＞と同時に使用可能な無線機能を含みます。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
  http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
  http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準を掲載しています。

米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.416W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は0.852W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【Libero 2】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）
https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）
http://www.who.int/emf
SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら
https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/

Specific Absorption Rate (SAR) for this Product (for Japan)

This mobile phone [Libero 2] meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.
The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).
The highest SAR value for this mobile phone is 0.667 W/kg*** when tested for use at the ear, and 1.896 W/kg*** when worn on the body in the below manner****.
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear**

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 0.5cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB) http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (Japanese)

This mobile phone [Libero 2] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.416 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.852 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from

the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID :SRQ-602ZT.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.
World Health Organization
http://www.who.int/emf
List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model
https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/ (Japanese)

FCC Compliance

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

暗証番号について

- 操作用暗証番号、管理者用暗証番号や交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、**お問い合わせ先**（→P.62）までご連絡ください。
- 操作用暗証番号、管理者用暗証番号や交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、**お問い合わせ先**（→P.62）までご連絡ください。
- 以前、携帯電話から発着信規制用暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更された番号を入力してください。

PINコード設定

PINコードとは、USIMカードの暗証番号です。
第三者による本機の無断使用を防ぐために使います（お買い上げ時は「9999」に設定されています）。

- PINコードの入力を３回間違えると、PINロック状態になります。その際は、PINロック解除コード（PUKコード）が必要となります。PINロック解除コードについては、**お問い合わせ先**（→P.62）までご連絡ください。PUKコードを１０回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、**ソフトバンクショップ**にてUSIMカードの再発行（有償）が必要となります。

PINコードを有効にする

1. ホーム画面で （設定）→「セキュリティ」
2. 「SIMカードロック設定」→「SIMカードをロック」
3. PINコードを入力→「OK」

PINコードを変更する

1. ホーム画面で （設定）→「セキュリティ」
2. 「SIMカードロック設定」→「SIM PINの変更」
3. 現在のPINコードを入力→「OK」
4. 新しいPINコードを入力→「OK」→確認のためにもう一度新しいPINコードを入力→「OK」

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには手動で更新ができます。

- 確認／更新には、通信料はかかりません。
- ソフトウェア更新には、約30分程度かかる場合があります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ソフトウェア更新中は、ほかの機能は操作できません。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合もあります）。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックやUSIMカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合は**お問い合わせ先**（→P.62）までご連絡ください。

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき

電池パックをいったん取り外したあと再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ソフトバンクの故障受付（→P.62）にご相談ください。

更新情報を確認する

1 ホーム画面で ⚙（設定）→「端末情報」→「ソフトウェア更新」

- 以降の操作は、画面の指示に従って行ってください。

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本機の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合

お問い合わせ先または最寄りの**ソフトバンクショップ**へご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内
ソフトバンク携帯電話から157（無料） 一般電話から フリーコール 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付
ソフトバンク携帯電話から113（無料） 一般電話から フリーコール 0800-919-0113（無料）

スマートフォン テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら
ソフトバンク携帯電話から151（無料） 一般電話から フリーコール 0800-1700-151（無料）

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-92-687-0025 （有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）